

## 江南区の検討資料

- 1 歴史
- 2 学級数と児童生徒数の推移
- 3 施設整備の状況
- 4 小規模校と大規模校の小中学校と配置図
- 5 再編案
  - (1) 大江山中学校区を対象とした再編案
    - 配置図
    - 大江山中学校と近隣中学校の生徒数の推移
    - 大江山中学校の再編案
    - 丸山小学校，大淵小学校と近隣小学校の児童数の推移
    - 丸山小学校，大淵小学校の再編案
  - (2) 両川中学校区，亀田西中学校区を対象とした再編案
    - 配置図
    - 両川中学校，亀田西中学校と近隣中学校の生徒数の推移
    - 両川中学校の再編案
    - 両川小学校，早通小学校と近隣小学校の児童数の推移
    - 両川小学校，早通小学校の再編案
  - (3) 亀田東小学校の再編案
    - 配置図
    - 亀田東小学校と亀田小学校，亀田中学校の児童生徒数の推移
    - 亀田東小学校の再編案

## 1 歴史

明治34年頃, 亀田町, 早通村, 横越村, 大江山村, 両川村, 曾野木村があったが, 大江山村, 両川村, 曾野木村は昭和32年に新潟市に合併された。

大正14年に早通村と合併した亀田町と, 平成8年に町制施行された横越町は平成17年新潟市と合併した。

## 2 学級数と児童生徒数の推移 (H15, 21, 27)

中学校	平成15年度	平成21年度	平成27年度	小学校	平成15年度	平成21年度	平成27年度
大江山	8	7	7	丸山	11	12	10
	270	219	218	大淵	8	7	6
曾野木	10	9	9	曾野木	13	12	12
	342	308	317	東曾野木	14	12	12
両川	5	4	3	酒屋	6	6	-
	118	94	68	割野	6	6	-
				両川	-	-	6
横越	9	10	9	横越	21	21	19
亀田	15	15	16	亀田	12	14	15
	580	553	594	亀田東	22	23	26
亀田西	13	11	12	早通	6	9	7
	436	364	392	亀田西	20	18	19
合計	60	56	56	合計	139	140	132
	2,080	1,890	1,897		3,877	3,843	3,767

3 施設整備の状況（平成 17 年以降の建築事業，適正規模校を除く）

学 校	年 度	内 容
大淵小学校	18～19年度	校舎，体育館建替え
酒屋・割野小学校	20，21年度	校舎，体育館建替（統合）
亀田東小学校	22年度	校舎建替，改修

4 小規模校と大規模校の小中学校と配置図（平成 27 年度推計による）

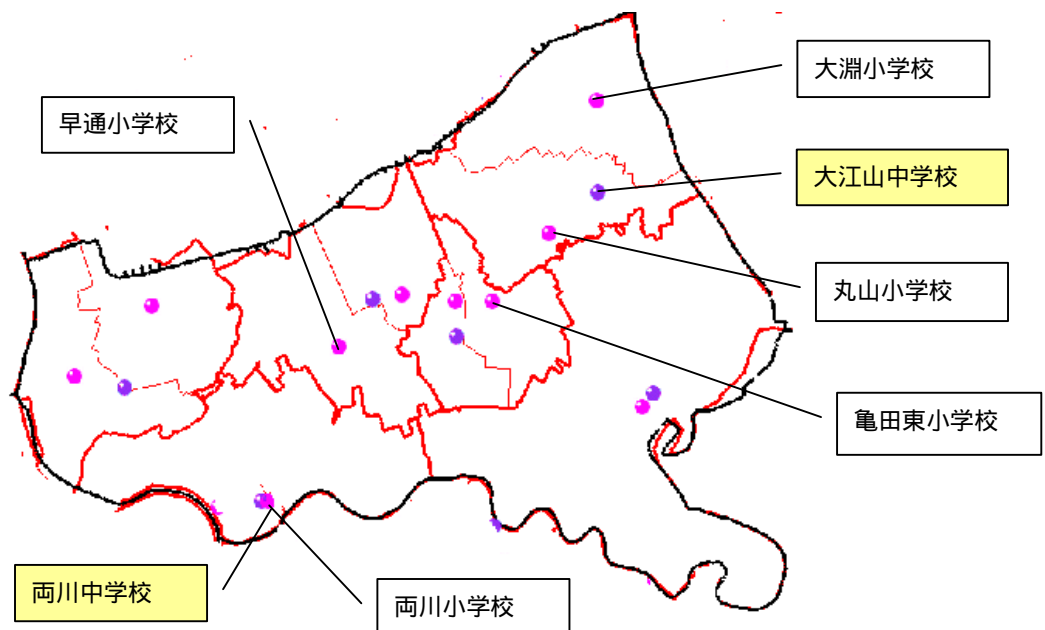
小学校

複式学級	6 学級	7～11 学級	25～30 学級	31 学級以上
なし	大淵小学校 両川小学校	丸山小学校 早通小学校	亀田東小学校	なし

中学校

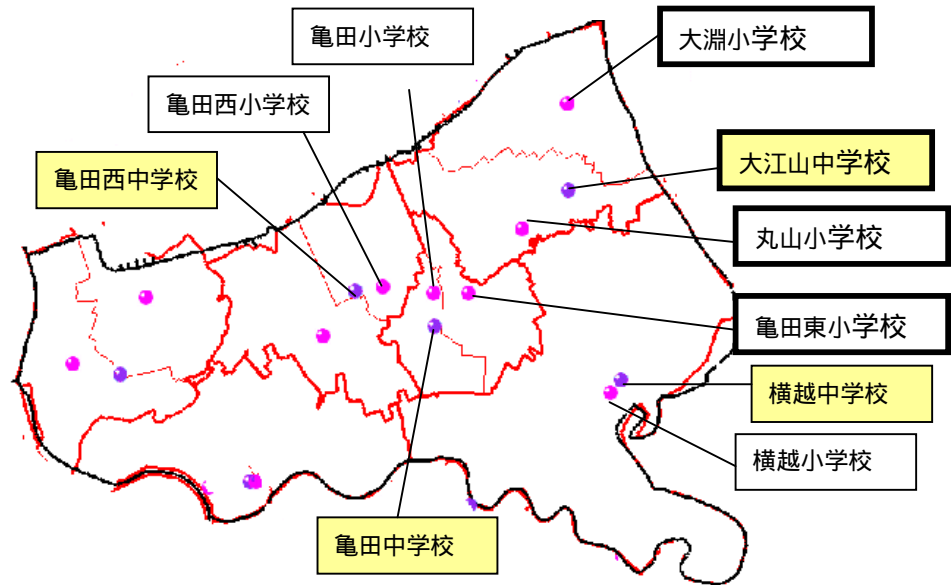
複式学級	3～5 学級	6～8 学級	19～30 学級	31 学級以上
なし	両川中学校	大江山中学校	なし	なし

検討対象校配置図



5 再編案

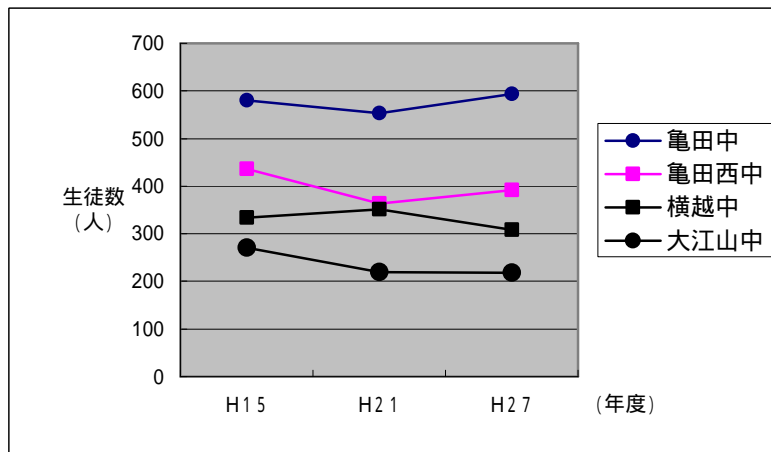
(1) 大江山中学校区を対象とした再編案  
配置図



中学校	小学校
大江山中学校	丸山小学校 大淵小学校
(横越中学校)	(横越小学校)
(亀田中学校)	(亀田小学校) 亀田東小学校
(亀田西中学校)	早通小学校 (亀田西小学校)

( )は適正規模校

大江山中学校と近隣中学校の生徒数の推移

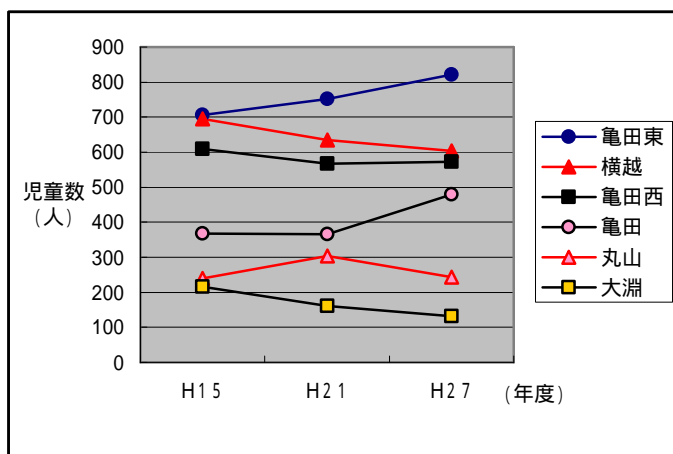


## 大江山中学校の再編案

検討校	案	統合の候補となる学校	統合後
大江山中 7 (218)	1	横越中 9 (308)	15 (526)
	2	亀田西中 12(392)	17 (610)
	3	亀田中 16 (594)	22 (812)

- 案 1 大江山中学校と隣接の横越中学校との統合で 15 学級の適正規模校となる。
- 案 2 大江山中学校と隣接の亀田西中学校との統合で 17 学級の適正規模校となる。
- 案 3 大江山中学校と隣接の亀田中学校との統合で 22 学級の大規模校となる。

## 丸山小学校，大淵小学校と近隣小学校の児童数の推移

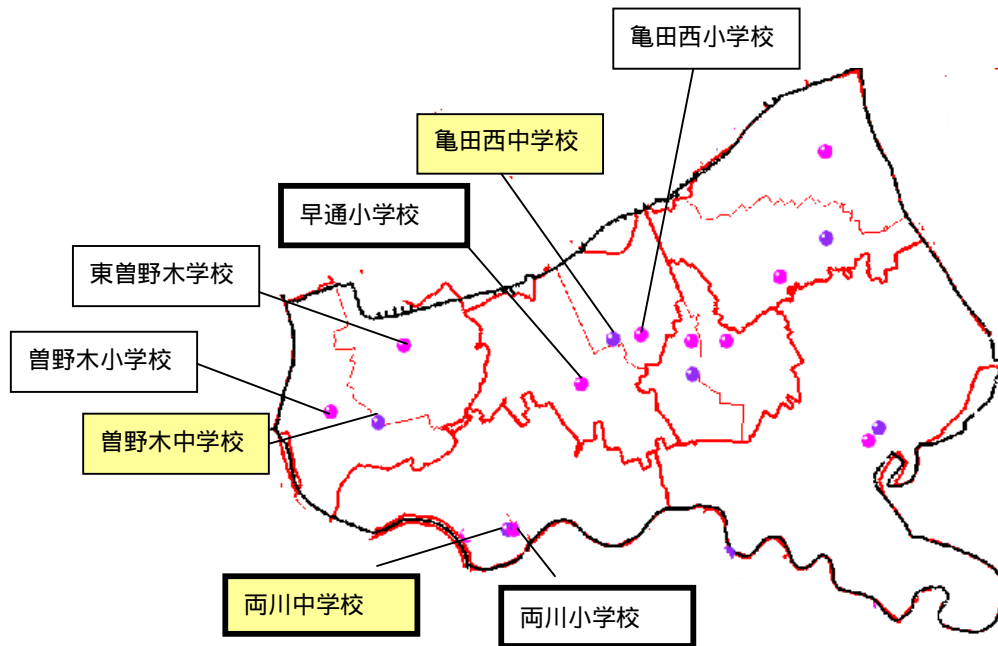


丸山小学校，大淵小学校の再編案

検討校	案	統合の候補となる学校	統合後	中学校区
丸山小 10 (244)	1	大淵小 6 (131)	12 (375)	大江山 ・大江山
	2	横越小 19 (604)	25 (848)	大江山・横越
	3	亀田東小 26 (821)	32 (1,065)	大江山・亀田
	4	亀田西小 19 (572)	25 (816)	大江山 ・亀田西
大淵小 6 (131)	5	丸山小 10 (244) 案 1 に同じ	12 (375)	大江山 ・大江山
	6	丸山小 10 (244) 横越小 19 (604)	28 (979)	大江山・横越
	7	丸山小 10 (244) 亀田西小 19 (572)	28 (947)	大江山 ・亀田西

- 案 1 丸山小学校と同一中学校区の大淵小学校との統合で 1 2 学級の適正規模校となる。
- 案 2 丸山小学校と旧市の堺で接する横越小学校との統合で 2 5 学級の大規模校となる。
- 案 3 丸山小学校と旧市の堺で接する亀田東小学校との統合で 3 2 学級の大規模校となる。
- 案 4 丸山小学校と旧市の堺で接する亀田西小学校との統合で 2 5 学級の大規模校となる。
- 案 5 案 1 に同じ
- 案 6 同一中学校区の大淵小学校，丸山小学校と，横越小学校との総合で 2 8 学級の大規模校となる。
- 案 7 同一中学校区の大淵小学校，丸山小学校と，亀田西小学校との総合で 2 8 学級の大規模校となる。

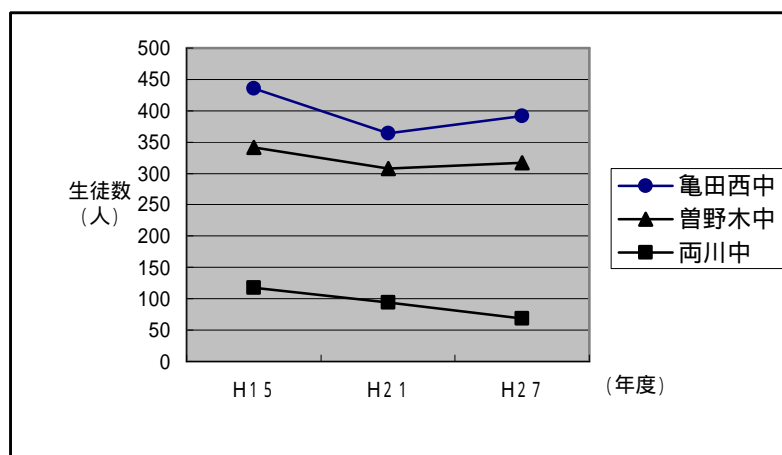
(2) 両川中学校区，亀田西中学校区を対象とした再編案  
配置図



中学校	小学校
両川中学校	両川小学校
亀田西中学校	早通小学校 (亀田西小学校)
(曾野木中学校)	(曾野木山小学校)(東曾野木小学校)

( )は適正規模校

両川中学校，亀田西中学校と近隣中学校の生徒数の推移

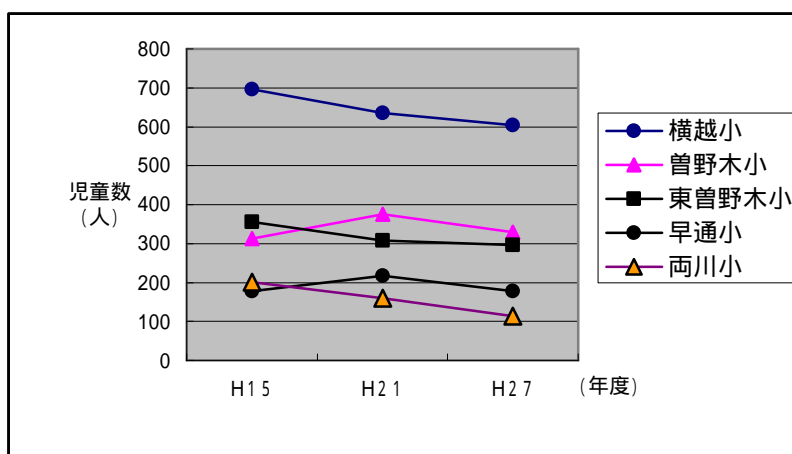


## 両川中学校の再編案

	案	相手方（隣接中学校）	再編後
両川中 3（68）	1	曾野木中 9（317）	11 （385）
	2	亀田西中 12（392）	13 （460）
	3	曾野木中 9（317） 亀田西中 12（392）	20 （777）

- 案 1 両川中学校と隣接の曾野木中学校の旧新潟市域の 2 校の統合で 11 学級の適正規模校となる。
- 案 2 両川中学校と隣接する亀田西中学校との統合で 13 学級の適正規模校となる。
- 案 3 両川中学校と隣接する曾野木中学校，亀田西中学校との 3 校の統合で 20 学級の大規模校となる。

## 両川小学校，早通小学校と近隣小学校の児童数の推移



\* 両川小学校は酒屋小学校と割野小学校が統合して平成 22 年に開校予定である。

そのため，両川小学校の H15，H21 の児童数は酒屋小学校と割野小学校の合計人数で表した。



両川小学校，早通小学校の再編案

検討校	案	統合の候補となる学校	統合後	中学校区
両川小 6(113)	1	曾野木小 12(329) 東曾野木小 12(296)	23 (738)	両川・曾野木
	2	曾野木小 12(329)	15 (442)	両川・曾野木
	3	東曾野木小 12(296)	13 (409)	両川・曾野木
	4	早通小 7(178)	12 (291)	両川・亀田西
	5	早通小 7(178) 亀田西小 19(572)	26 (863)	両川・亀田西
	6	早通小 7(178) 東曾野木小 12(296)	18 (587)	両川・亀田西 ・曾野木
	7	早通小 7(178) 東曾野木小 12(296) 曾野木小 12(329)	27 (916)	両川・亀田西 ・曾野木
早通小 7(178)	8	亀田西小 19(572)	23 (750)	亀田西 ・亀田西
	9	両川小 6(113)案4に同じ	12 (291)	亀田西・両川
	10	東曾野木 12(296)	15 (474)	亀田西 ・曾野木
	11	東曾野木小 12(296) 曾野木小 12(329)	25 (803)	亀田西 ・曾野木
	12	両川小 6(113) 曾野木小 12(329)	20 (620)	亀田西・両川 ・曾野木
	13	両川小 6(113) 亀田西小 19(572)案5に同じ	26 (863)	亀田西・両川
	14	両川小 6(113) 東曾野木小 12(296)案6に同じ	18 (587)	亀田西・両川 ・曾野木
	15	両川小 6(113) 曾野木小 12(329) 東曾野木小 12(296)案7に同じ	27 (916)	亀田西・両川 ・曾野木
	16	亀田小 15(479)	20 (657)	亀田西・亀田

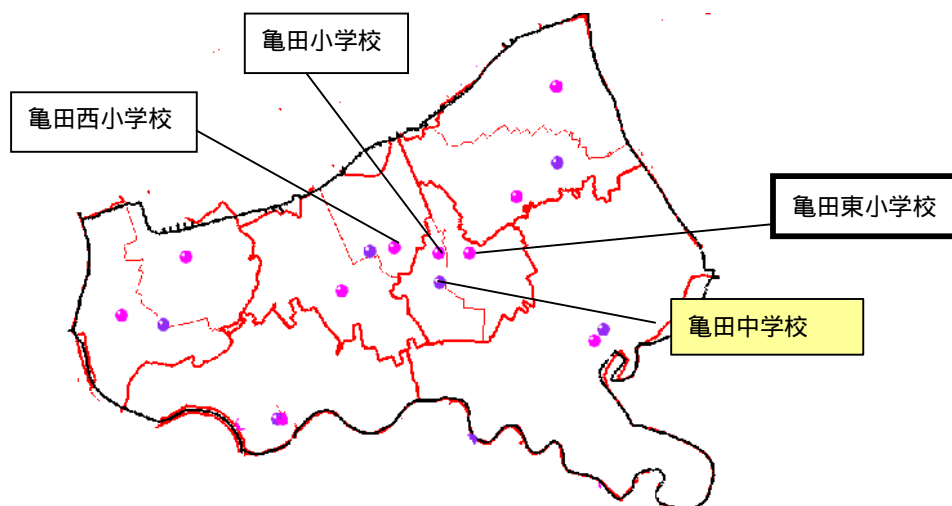
- 案 1 両川小学校と旧新潟市域の曾野木小学校，東曾野木小学校との統合で，23学級の適正規模校となる。
- 案 2 両川小学校と旧新潟市域の曾野木小学校との統合で，15学級の適正規模校となる。
- 案 3 両川小学校と旧新潟市域の東曾野木小学校との統合で，13学級の適正規模校となる。
- 案 4 両川小学校と旧市の堺で隣接する早通小学校との統合で，適正規模の下限の12学級の学校となる。
- 案 5 両川小学校と亀田西中学校区の早通小学校，亀田西小学校との統合で26学級の大規模校となる。
- 案 6 両川小学校と早通小学校，東曾野木小学校との統合で18学級の適正規模校となる。
- 案 7 両川小学校と早通小学校，曾野木中学校区の東曾野木小学校，曾野木小学校の4校の統合では27学級の大規模校となる。
- 案 8 早通小学校と同じ中学校区の亀田西小学校との統合で，23学級の適正規模校となる。
- 案 9 案 4 に同じ
- 案 10 早通小学校と東曾野木小学校との統合で15学級の適正規模校となる。
- 案 11 早通小学校と曾野木中学校区の曾野木小学校，東曾野木小学校との統合で，25学級の大規模校となる。
- 案 12 早通小学校と両川小学校，曾野木小学校との統合で20学級の適正規模校となる。
- 案 13 案 5 に同じ
- 案 14 案 6 に同じ

案 15 案 7 に同じ

案 16 早通小学校と亀田小学校との統合で 20 学級の適正規模校となる。

( 3 ) 亀田東小学校の再編案

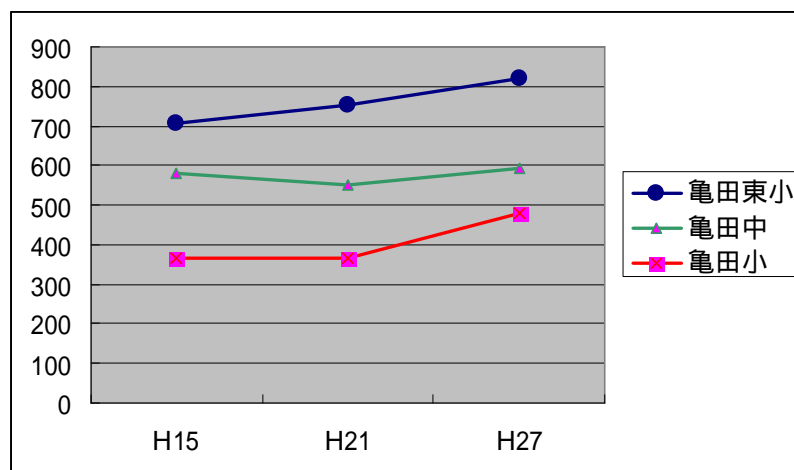
配置図



中学校	小学校
( 亀田中学校 )	( 亀田小学校 ) 亀田東小学校
( 亀田西中学校 )	早通小学校 ( 亀田西小学校 )

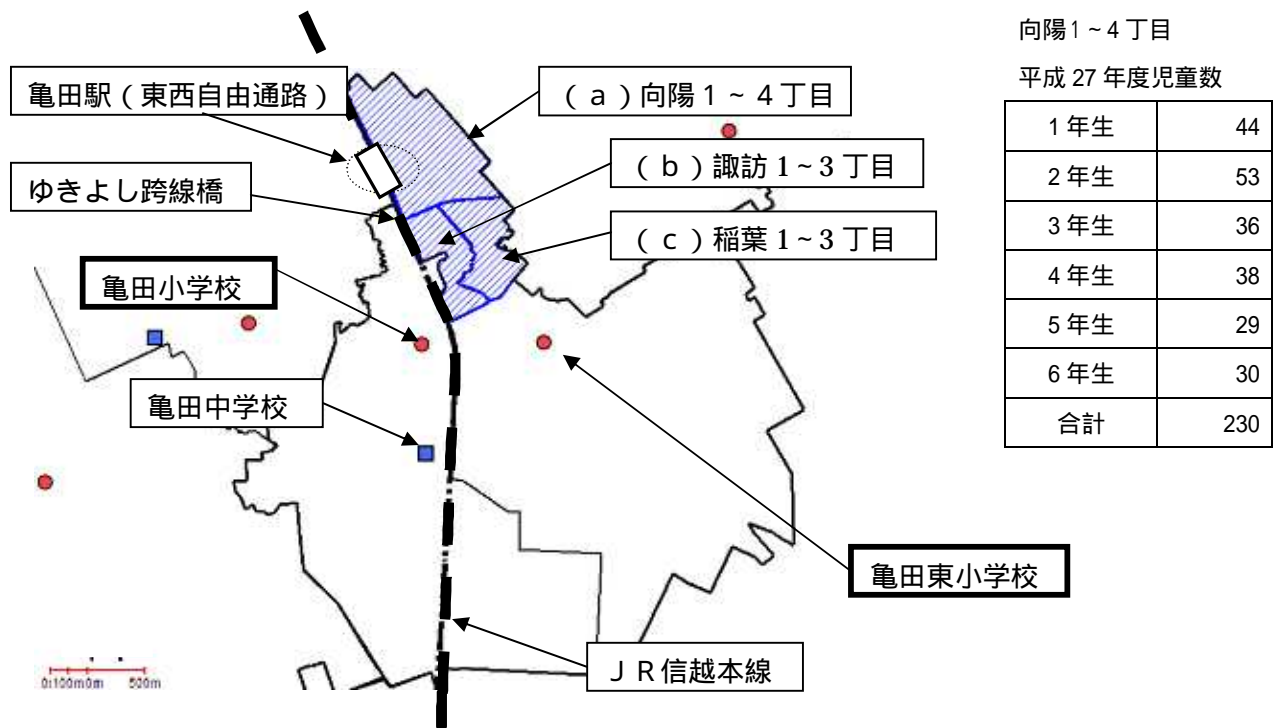
( )は適正規模校

亀田東小学校と亀田小学校, 亀田中学校の児童生徒数の推移



亀田東小学校の再編案

亀田中学校の通学区域内では, 亀田東小学校が大規模化するものの, 隣接の亀田小学校は適正規模で推移すると予想され, 同じ中学校の通学区域内で, 通学区域を変更することにより適正規模化を図ることについて検討した。



- ア 亀田小学校と線路を堺にして東側にある亀田東小学校区の向陽1～4丁目（a）は、自由通路を使うことにより踏み切りをわたらずに安全に通学できる。  
また、通学距離がほぼ同じであることから、亀田小学校通学区域に変更した場合
- イ JR信越本線沿いの諏訪1～3丁目（b）を亀田東小学校から亀田小学校通学区域に変更した場合。
- ウ （a）、（b）両方の地区を亀田小学校の通学区域に変更した場合。
- エ 諏訪1～4丁目（b）の東側に隣接する稲葉1～3丁目（c）を、（b）とともに亀田小学校の通学区域に変更した場合。
- オ 亀田東小学校通学区域の北側の上記（a）、（b）、（c）3地域を亀田小学校に通学区域変更した場合。

通学区域の変更による学校規模（H27年度推計から試算）

	現 状	ア 向陽地区 変更 a)	イ 諏訪 1~3 丁目変更 b)	ウ 左記 2 地区 両方変更 a) + b)	エ イの諏訪と 稲葉変更 b) + c)	オ アとエの 3 地区を変更 a)+b)+c)
亀田東 小学校	26 (821)	18 (591)	24 (761)	17 (531)	23 (727)	17 (497)
亀田 小学校	15 (479)	23 (709)	18 (539)	24 (769)	19 (673)	24 (803)